

財務部 部長マニフェスト

私の思い

財務部長 渡辺 耕次

大阪府のみならず全国的な現象となっている人口減少、少子高齢化については、柏原市も例外ではなく、税収をはじめとする歳入が伸び悩む一方で、社会福祉経費の増加等により、ますます財源不足を産み出す要因を抱えた厳しい財政状況となっています。

このような中で、健全で規律ある財政運営を行っていくため、中長期を見通し、より一層行財政改革に取り組んでいきます。また、財政規律を確立させるための条例案の策定に取り組めます。



重点目標

- ① 計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立
- ② 市税のより適正で公平な賦課徴収と収納率の向上
- ③ 適正な入札及び契約の執行

部の施策概要

予算編成に当たっては、歳入歳出両面にわたる改革に積極的に取り組み、担当課からの提案等により、既存事業のすべてにわたって見直しを進めます。また、中長期的な視点から健全な財政運営が行えるよう、財政規律の基本を定めます。

市税の賦課徴収に当たっては、課税客体の把握に努め、より適正で公平な課税に努めるとともに、収納率の向上を図ります。

入札・契約の執行に当たっては、事業担当課との連携を強化し、指導、検査体制を充実し、適正な契約の履行を確保するとともに、総合評価方式の対象範囲を拡げ、品質向上に努めます。

計画的な財政運営による持続的で健全な行財政基盤の確立

戦略課題の目標

将来予測が難しい状況の中、社会情勢や経済状況に対応できる持続的・自立的な行財政基盤の確立に向けて、平成 26 年度以降計画的に財政の健全化に努めます。

施策推進上の目標

- ① 計画的な財政運営
「柏原市行財政健全化戦略」のもと計画的で規律ある財政運営に努めます。
- ② 経常予算の抜本的見直し検討
平成 26 年度予算編成に向けて、事務事業の既存経費の抜本的検討を進めます。
 - ・市単独事業における部内でのスクラップアンドビルド（新規事業の実施には必ず既存事業の廃止・縮小をすること）を徹底
 - ・実施計画の策定に伴い、査定による事業規模等の抑制、中長期見通しを構築

アウトプット

- ① 平成 25 年度において収支不足が見込まれる中、必要な事業規模等を再精査
- ② 庁舎建設基金借入金（2 億 5 千万円）の早期返済（平成 31 年度末一括償還）
- ③ 平成 26 年度予算への反映
 - ・収入の範囲内での歳出予算を組むよう努力、将来負担を先送りしない
 - ・新規事業の構築とそれに伴う既存事業の廃止・縮小の進捗

アウトカム

- ・予算編成は収入の範囲内で歳出予算を組む
- ・財政の健全化を示す指標等の改善及び堅持、特に将来負担比率の改善、実質赤字比率の黒字堅持

重点課題 ②

市税のより適正で公平な賦課徴収と収納率の向上

戦略課題の目標

適正で公平な賦課徴収に基づき歳入の根幹である市税の確保に努めます。

施策推進上の目標

適正な課税のために現地調査の実施や国・府と連携し課税客体の的確な把握に努めます。

適正な滞納整理による徴収に努め、市民負担の公平性を保ちます。

アウトプット

納税者に対し税の不公平感をなくし、現年課税分の年度内収納と滞納額の圧縮を図ります。

アウトカム

平成 25 年度収納率の目標を 94.1%とします。

適正な入札及び契約の執行

戦略課題の目標

単に廉価を目指すだけでなく、民間企業の優れた技術力を活かすことにより、品質面での向上を図ります。

施策推進上の目標

- ① 検査要綱等の改正
事業課と連携し、検査体制の充実を図ります。
- ② 総合評価落札方式実施要綱の改正
現在 1 億 8 千万円以上の工事及び建物総合管理になっている対象範囲の拡大を図ります。

アウトプット

- ① 工事及び業務の品質を高める。
- ② 価格だけでなく、品質面を考慮した業者選定ができる。

アウトカム

- ① 工事成績評価点の年平均アップ
- ② 総合評価方式入札の件数増加